

トピック 一ぱれいしょの需給動向

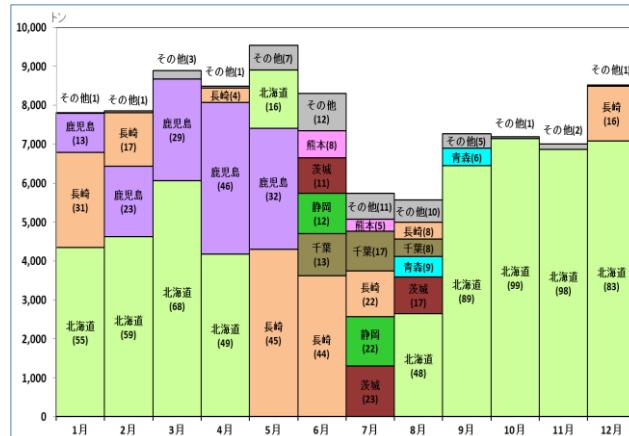
ぱれいしょは、北海道が主要な産地で、北海道産の豊凶が需要動向に大きな影響を及ぼすが、5~7月にかけては、鹿児島産や長崎産等の府県産が主な産地になってくる。

最近のぱれいしょは、4月は府県産の入荷が少なく、価格が上昇傾向だったが、5月上旬から入荷量が増え、価格が下がってきてている。

これは、
 ① 北海道産は、不作傾向であったものの、4~5月の出荷が平年並みであったこと、
 ② 鹿児島産は、4月下旬からの本格的な出荷となるが、生育が遅れて、出荷のピークが5月上旬になつたこと、
 ③ 長崎産も、本来なら4月後半からの出荷であるが、5月上旬からの出荷になったこと、
 による。

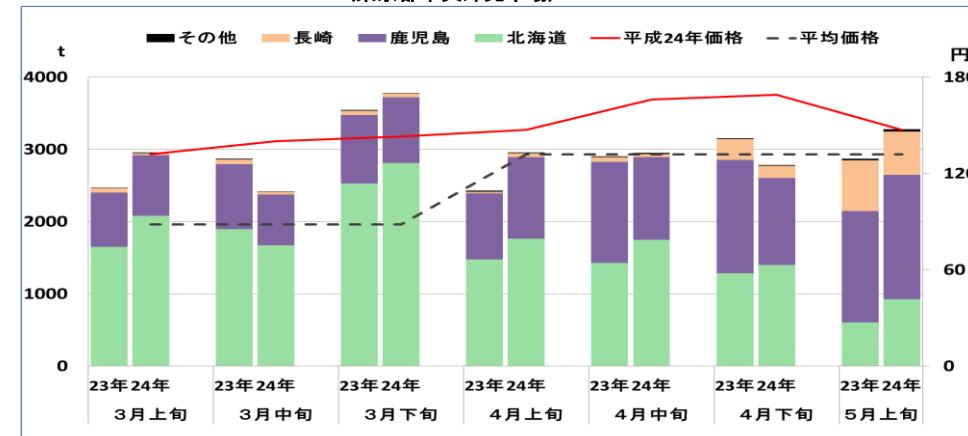
近年、ぱれいしょは、比較的価格が高めに推移していたことから、鹿児島産及び長崎産とともに作付面積が増加傾向であり、また、今の時期は、長期保存せず、収穫後順次出荷していくことから、潤沢な出荷が続き、今後は、価格が平年を下回って推移するものと見込まれる。

ぱれいしょの月別入荷実績(平成23年)
(東京都中央卸売市場)



資料：平成23年東京都中央卸売市場年報

ぱれいしょの産地別入荷量と卸売価格の推移
(東京都中央卸売市場)



資料：青果物情報センター

春ぱれいしょの主産地(鹿児島、長崎)における生育・出荷ステージ(平成24年)



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページのトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。